

## [星のまち・かたの]シンボルマーク活用の基本マインド

### ■ [星のまち・かたの]とシンボルマーク

交野市では、都市のイメージアップを推進する取り組みを進めています。

交野市の都市像「自然と文化がなごむまち」を具体化するためのシンボルとして、[星のまち・かたの]を提唱しています。この[星のまち・かたの]を表現するビジュアルの中心となるのがシンボルマークです。

[星のまち・かたの]は、交野市が個性ある都市魅力を発揮していく上で特に大切にしようとする自然・文化・ロマン・都市景観といったことを象徴するキーワードです。

- 星が見える美しい空に代表されるように、**自然環境**を大切にするまちである。
- 「天の川」など星にちなんだ物語や歌があり、**歴史的な遺産**が数多くあることを含め、**文化**を大切にするまちである。
- 「七夕伝説」をはじめ、多くの星にまつわるいっただえや地名のあるまちとして、**ロマンあふれるまち**である。

### ■ シンボルマークは交野市全体のコミュニティ財産です。

● [星のまち・かたの]シンボルマークは交野市全体のコミュニティ財産です。交野市のイメージアップをはかるために守り育て、効果的に活用してください。

● [星のまち・かたの]のフレーズとともに制定したシンボルマークは、「交野市」のイメージアップ事業を推進する上でビジュアル展開の中心になるものです。

● 「デザインマニュアル」は、[星のまち・かたの]シンボルマークによるイメージアップ事業を統一して推進する基本となるものです。デザインマニュアルに沿ってビジュアル展開をしてください。

● 「デザインマニュアル」は、ビジュアル展開の技術的指針であるばかりでなく、デザインによるマインドアイデンティティ(ビジュアル展開の精神性・考え方の基本)を高める目的もあることを認識してください。

### ■ シンボルマークの使い方について。

- シンボルマークの使用に関する権利は交野市にあり、公共用途での使用を原則とします。
- 商業目的や政治・宗教活動には使用しないでください。

ただし、商業目的など公共用途以外に使用することで交野市の全体的なイメージアップにつながると判断される場合は、「総務課」において検討し、一定の条件を付けて使用を認めることがあります。

- シンボルマークの管理・ビジュアル展開に関する諸問題の検討は「総務課」でおこないます。

問題が生じたときは、総務課の判断に基づいてシンボルマークを使用してください。

- イメージ統一をはかる上で最も大切なことは、いうまでもなくビジュアルの中心であるシンボルマークです。原則、使用の際に手を加えたり、テーマカラー以外の色を使わないことを徹底してください。

\* 親子の星でひとつのマークであると印象づけるため、以下のような使い方は禁止します。

- ・ 〈星形ペア〉をひとつずつ単独で使わない。
- ・ テーマカラー以外の色を使わない。

### ■ シンボルマーク使用の申込について。

- シンボルマークを使用したいときは、まず、交野市総務部総務課にご相談ください。
- 「シンボルマーク使用申込書」に、使用するもののイメージ図をつけて申し込んでください。
- 申込後、2週間以内に申込に対する回答をします。
- 使用方法については、「総務課」の判断に基づいてください。
- シンボルマークを使用した制作物の内容がわかるもの(完成品の写し等)を提出してください。ただし、制作物が看板・のぼりなど提出できないもの場合は、写真等を提出してください。

---

### ■ 問い合わせ先 交野市役所総務部総務課

〒576-8501 交野市私部1丁目1-1 TEL.072-892-0121 FAX.072-891-5046



星のまち★かたの

# [星のまち・かたの]イメージアップ デザインマニュアル

## ■もくじ

- 1 □ [星のまち・かたの] シンボルマーク活用の基本マインド
- 2 □ シンボルマーク・1 [モノクロ]
- 3 □ シンボルマーク・2 [カラー]
- 4 □ シンボルマーク・キャッチフレーズ・ユニット1-a [基本ユニット・モノクロ]
- 5 □ シンボルマーク・キャッチフレーズ・ユニット1-b [基本ユニット・カラー]
- 6 □ シンボルマーク・キャッチフレーズ・ユニット2 [補助ユニット]
- 7 □ [星のまち・かたの] ロゴタイプ
- 8 □ デザインガイド・名刺
- 9 □ デザインガイド・封筒
- 10 □ デザインガイド・刊行物／表紙
- 11 □ デザインガイド・サインボード（看板・標識）
- 12 □ デザインガイド・イメージフラッグ



交野市

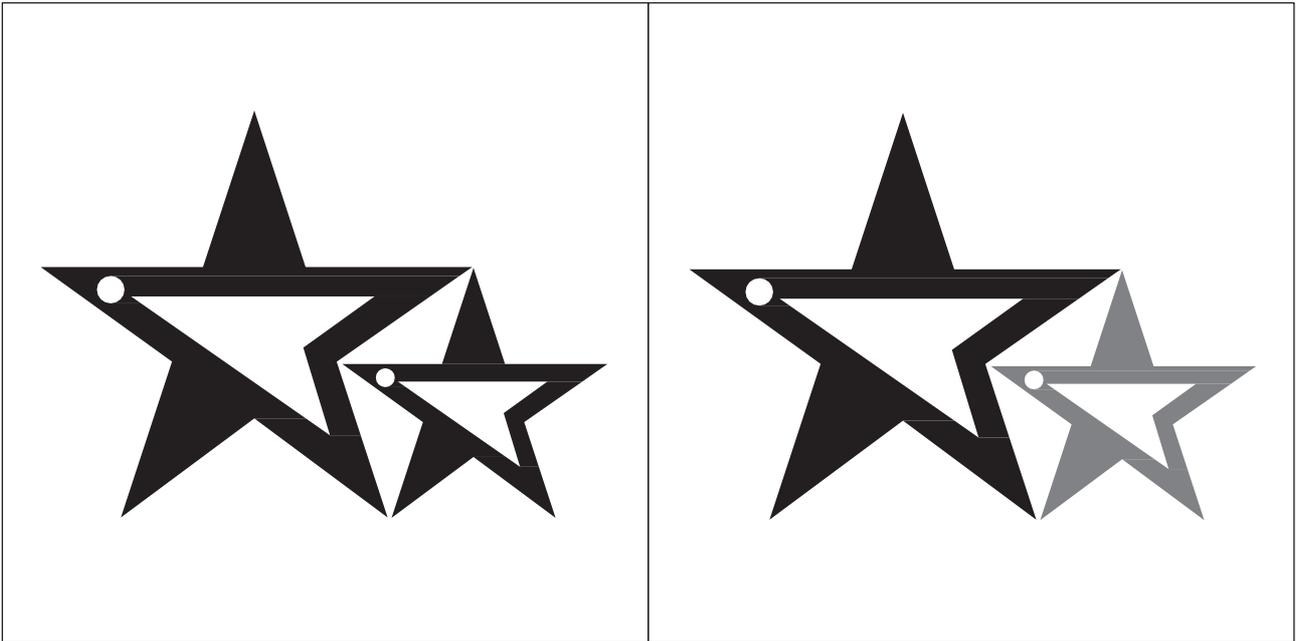
## □ シンボルマーク・1 [モノクロ]

■ シンボルマークの基本造形は大小親子の〈星形ペア〉による構成です。星の中の白い丸点と矢印は星のカタチを羽根に見立てることで鳥のイメージを浮かび上がらせます。つまりは「親子星」であると同時に「親子鳥」のダブルイメージを持ち、[星のまち・かたの]の市民が手を携えて未来に飛翔する意欲を示します。さらにペア表現によって市民憲章に謳われた「和」を象徴するものともなります。

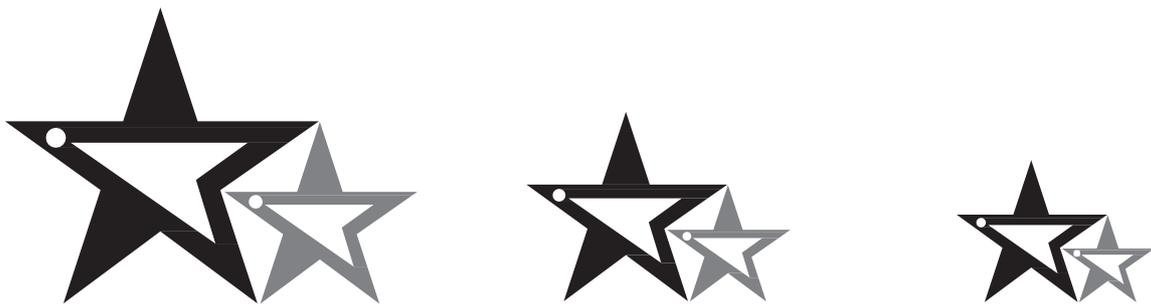
- シンボルマークはマスターデザインを〈版下〉として使用します。
- 黒色など単色使用のときは“親星”は[色100%]、“子星”を[アミ60%]にすることを基本にします。ただし、使用効果を考慮した判断に基づき、親星・子星とも[色100%]の使用を可とします。
- 「白抜き」で使用するときは、親星・子星とも[白100%]とします。
- 視覚効果を安定させるため、シンボルマークを単独で使用する際の最小サイズは天地10mmとします。

### ■ シンボルマーク・マスターデザイン

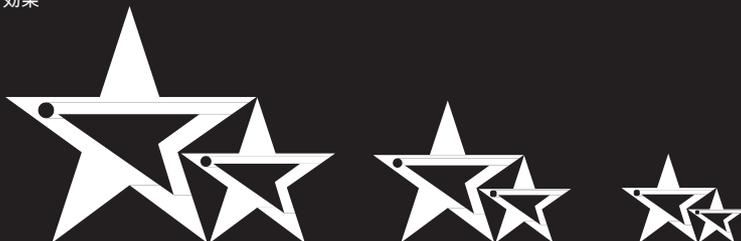
### ■ 単色使用時基本・濃色100% 淡色60%



### ■ サイズ効果



### ■ 白抜き効果



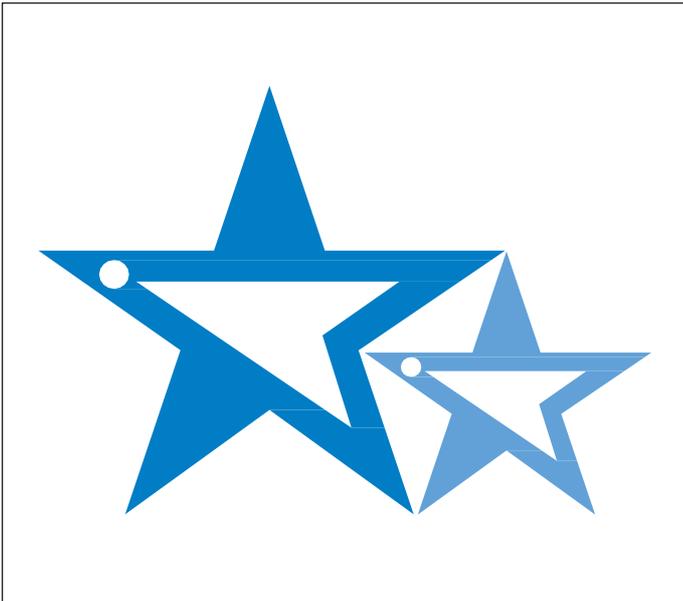
### ■ 最小使用寸法



## □ シンボルマーク・2 [ カラー ]

- シンボルマークの使用にバラエティをもたせるため、基本となるテーマカラー（指定色）を4色設定します。
- その中のブルー（カラーA）を交野市のシンボルカラーとし、「かたのブルー」と名づけます。他の3色はサブカラーとしてそれぞれに「なごみ」を冠した色呼称とします。（なごみオレンジなど・カラーB～D）
- テーマカラーをペイントや染色など単独の色で使用するときは「カラーサンプル・DIC第16版」を参考に調色し、印刷の場合は「プロセスカラー」に指定する各色パーセントによる色とします。ただし、プロセスカラーで指定するパーセントは微妙であるため、より近い近似色を可とします。
- 親星を“カラーA” 子星を“カラーB” とするような混合使用は原則として禁じます。ただし、テーマカラーで数年使用した後、シンボルマークの浸透状況により、さらにバラエティ豊かな展開をするためにテーマカラー相互の色を交流させた使用を検討します。

### ■ カラーA・かたのブルー（メインカラー）



#### ○ [ かたのブルー ]

流れる水や広がる空、交野の自然と希望の象徴。

- ・ DIC第16版  
メインカラー [ 182 ] / サブカラー [ 101 ]
- ・ プロセスカラー  
メインカラーC100% + M40% / サブカラーC60% + M25%

### ■ カラーB・なごみオレンジ



#### ○ [ なごみオレンジ ]

“和”や家庭のだんらんを通じての人のあたたかさ。

- ・ DIC第16版  
メインカラー [ 162 ] / サブカラー [ 55 ]
- ・ プロセスカラー  
メインカラーY100% + M50% / サブカラーY70% + M35%

### ■ カラーC・なごみローズ

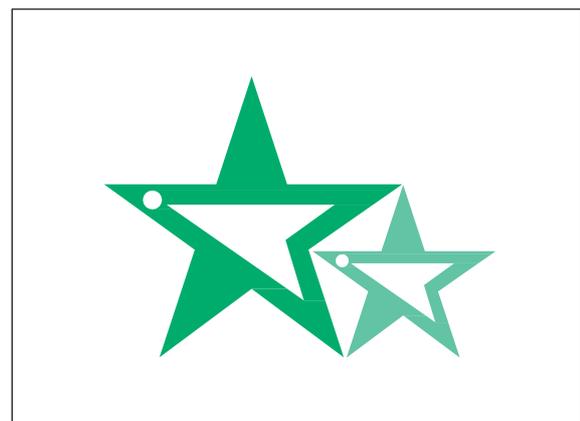


#### ○ [ なごみローズ ]

知的な活力と創造への情熱。

- ・ DIC第16版  
メインカラー [ 154 ] / サブカラー [ 73 ]
- ・ プロセスカラー  
メインカラーM100% + C15% / サブカラーM70% + C10%

### ■ カラーD・なごみグリーン



#### ○ [ なごみグリーン ]

山や草木、緑豊かな自然。

- ・ DIC第16版  
メインカラー [ 174 ] / サブカラー [ 63 ]
- ・ プロセスカラー  
メインカラーC90% + Y80% / サブカラーC60% + Y45%

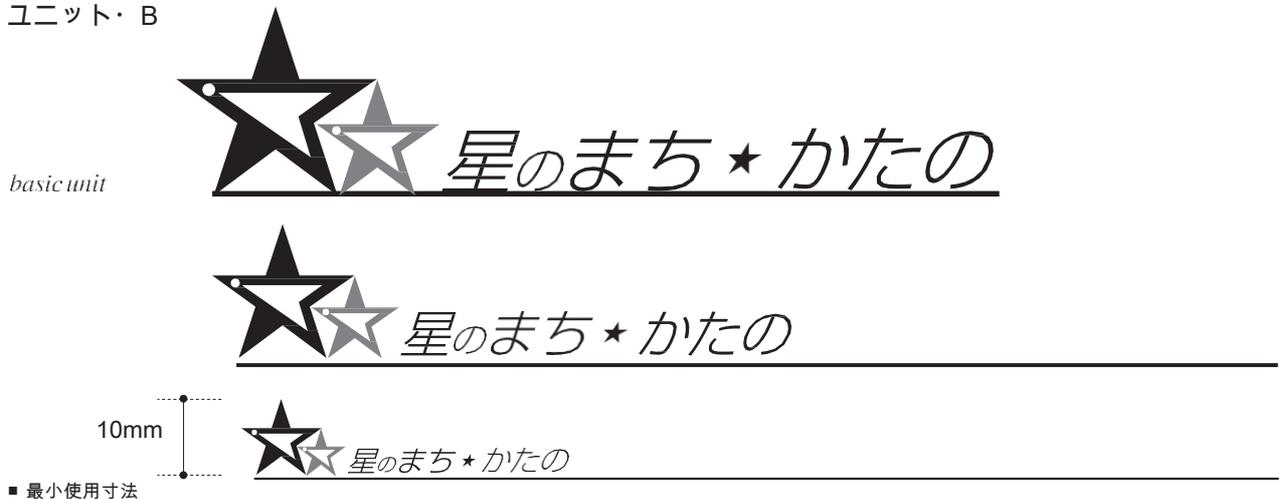
## □ シンボルマーク+キャッチフレーズ・ユニット- 1-a [基本ユニット・モノクロ]

- シンボルマークとキャッチフレーズのユニットは、原則として [基本ユニットA・B] を使用します。
- ただし、さまざまなデザイン状況に対応するための [補助ユニット] として “サブユニット・A” “サブユニット・B” を設定し、表現に幅を持たせることでバラエティある展開ができるようにします。
- 「星のまち・かたの」のロゴタイプ(指定文字)は“ユニット- 1” に使用のものを [基本ロゴタイプ] とします。
- ロゴタイプのアンダーラインは、媒体に応じ後方に延長させて使用することが可能です。

### ■ ユニット・A



### ■ ユニット・B



## □ シンボルマーク+キャッチフレーズ・ユニット- 1-b [基本ユニット・カラー]

- シンボルマークとキャッチフレーズの [基本ユニットA・B]を“テーマカラー”を使ってデザイン展開するとき、キャッチフレーズのアンダーラインは“親星の指定色”とします。
- シンボルマークとキャッチフレーズのバランスは、すべて [基本ユニットA・B]と同じです。

### ■ ユニット・A

basic unit



### ■ ユニット・B

basic unit



## □ シンボルマーク+キャッチフレーズ・ ユニットー2 [ 補助ユニット ]

- [ 補助ユニット ]として“ サブユニット・ A” と“ サブユニット・ B” サブユニット・ C” を設定し、多様なデザイン状況に対応します。
- 「星のまち・かたの」のロゴタイプは“ ユニットー 1” に使用のものをベースに、アーチ型に変形させたり、斜め使用にするなどのアレンジをしています
- ユニット使用時の最小寸法はキャッチフレーズの明示度を考慮し、「親星」の天地15mmとします。

### ■ サブユニット・ A



■ 最小使用寸法

### ■ サブユニット・ B



■ 最小使用寸法

### ■ サブユニット・ C



■ 最小使用寸法

□[星のまち・かたの][交野]&[KATANO]ロゴタイプ

•[星のまち・かたの]および[交野]・[KATANO]のロゴタイプです。

星のまち★かたの

星のまち★かたの

星のまち★かたの

星のまち★かたの  
星のまち★かたの  
星のまち★かたの  
星のまち★かたの  
星のまち★かたの  
星のまち★かたの

**KATANO**

交野

交野

**KATANO**

**KATANO**

**交野**

## □ デザインガイド・名刺

● [星のまち・かたの]による交野市のイメージアップ事業の効果をあげるため、名刺デザインのガイドラインを設定します。

● タテ型・ヨコ型名刺作成の目安となるデザインを示します。

氏 名 = 太明朝体16ポイント(写植対応24級)

ローマ字氏名 = ヘルベチカ・レギュラー7ポイント  
(写植対応 10級)

肩 書 = 中ゴシック7.5ポイント(写植対応11級)

部署名等 = ゴシック9ポイント(写植対応13級)

\* 氏名のローマ字表記はルビの役割を果たすものにもなります、  
しかし特に必要と考えない場合は強制しないものとします。

### ■ 名刺・A



\* すでに名刺サイズに裁断されている専用紙に印刷する際は、アンダーラインの延長を下部の文字の右端に揃えます。



### ■ 名刺・B



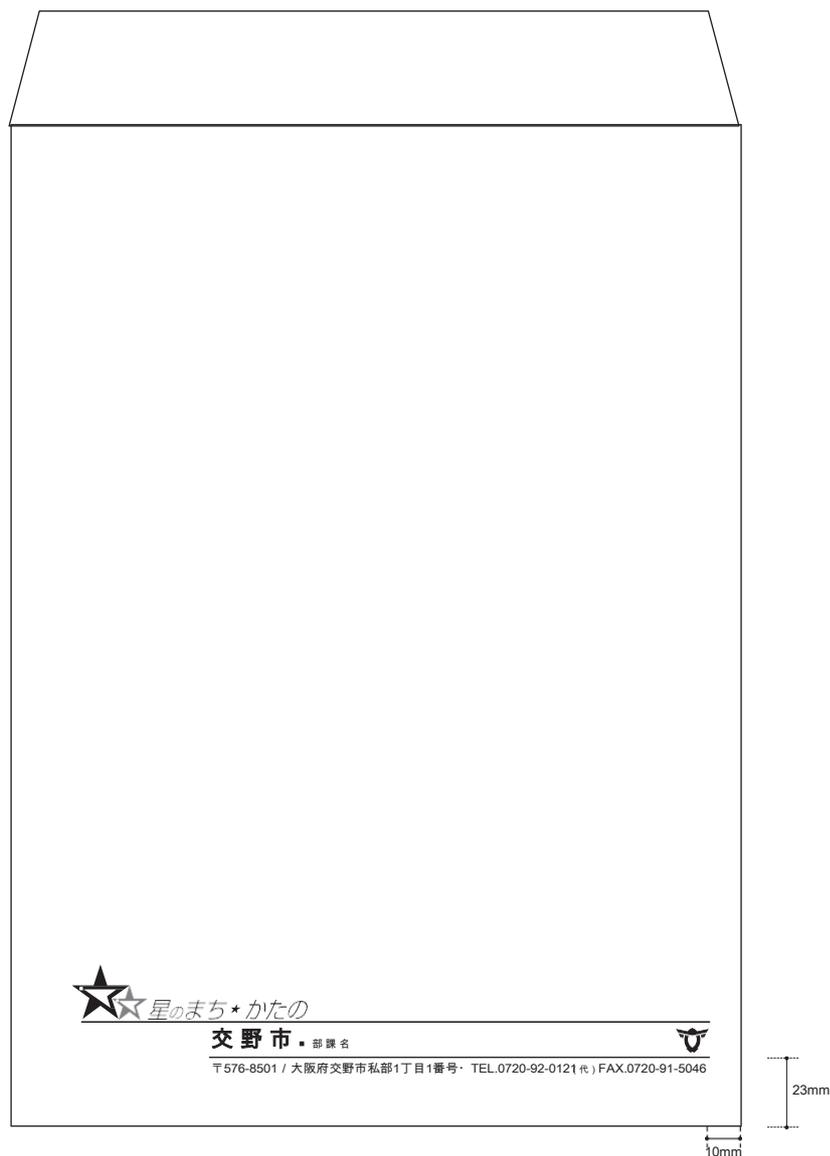
## □ デザインガイド・封筒

- 専用封筒の通常用ヨコ型 (長3号 235×120mm) と大判タテ型 (角2号 332×240mm) の基本デザインです。
- フォント (書体)
  - ヨコ型 (長3号) = 交野市名 / モリサワShunGo Regular 20point (写植対応28級)
  - 部 課 名 / 中ゴシック・ 9point (写植対応13級)
  - 住所 TEL / 中ゴシック・ 10point (写植対応14級)
  - タテ型 (角2号) = 交野市名 / モリサワShunGo Regular 22point (写植対応32級)
  - 部 課 名 / 中ゴシック・ 10point (写植対応14級)
  - 住所 TEL / 中ゴシック・ 12point (写植対応18級)

### ■ ヨコ型封筒 (長3号)



### ■ タテ型封筒 (角2号)

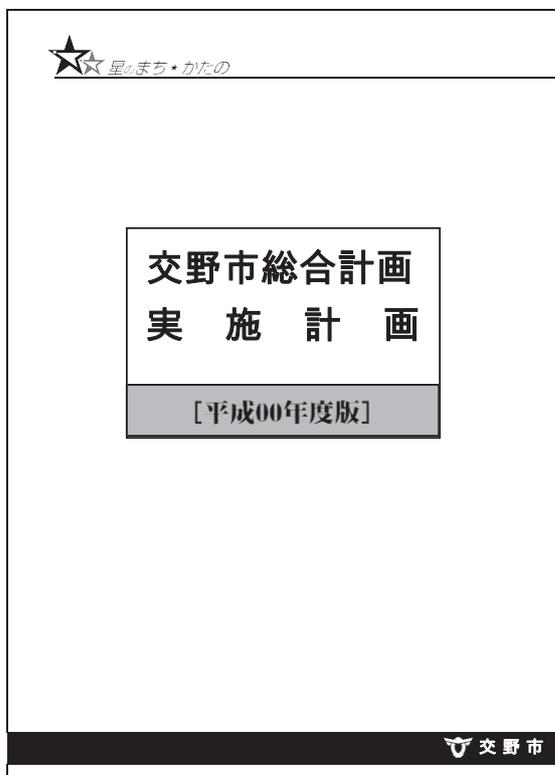


## □ デザインガイド・刊行物 / 表紙

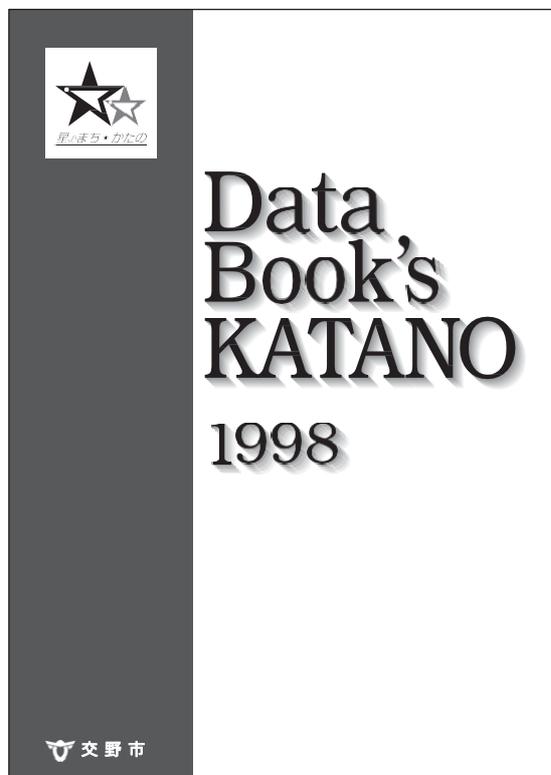
- 刊行物の表紙デザインに関しては、イメージを拓げるために特に細部にわたる規制をしない方がよいでしょう。

しかし、イメージアップ展開の目的を明確にするため、[シンボルマーク+キャッチフレーズの基本ユニット]を使用するとよいでしょう。

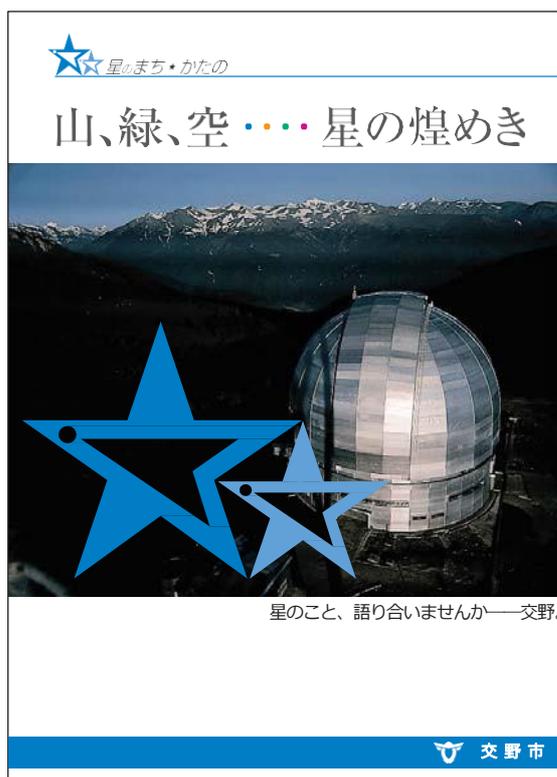
### ■ 報告書など



### ■ 記録 資料など



### ■ パンフレットなど



### ■ 案内冊子など



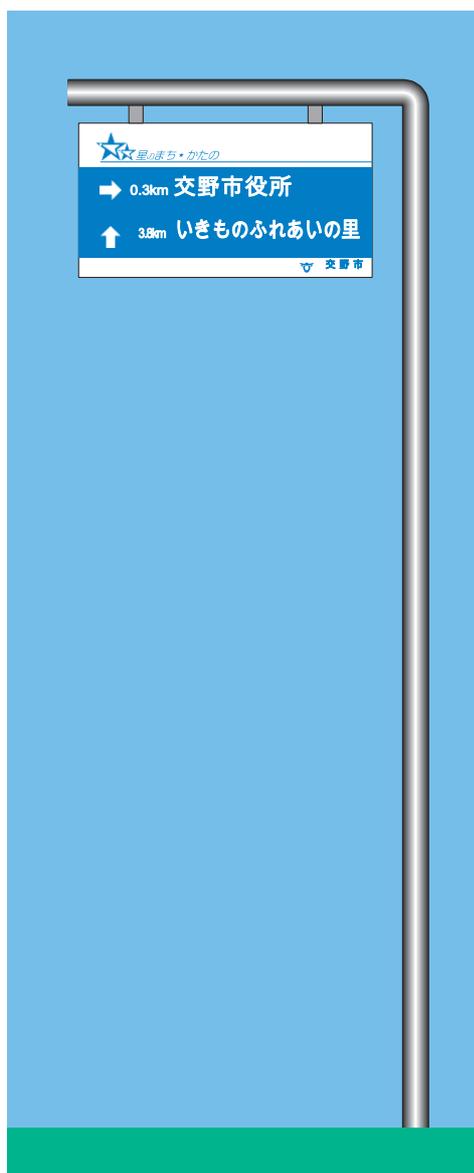
## □ デザインガイド・サインボード (看板・標識)

- 統一的なイメージアップをはかるため、サインボード (看板・標識) にもシンボルマーク+キャッチフレーズの [基本ユニット] を使用します。幾つかのデザイン試作を示します。

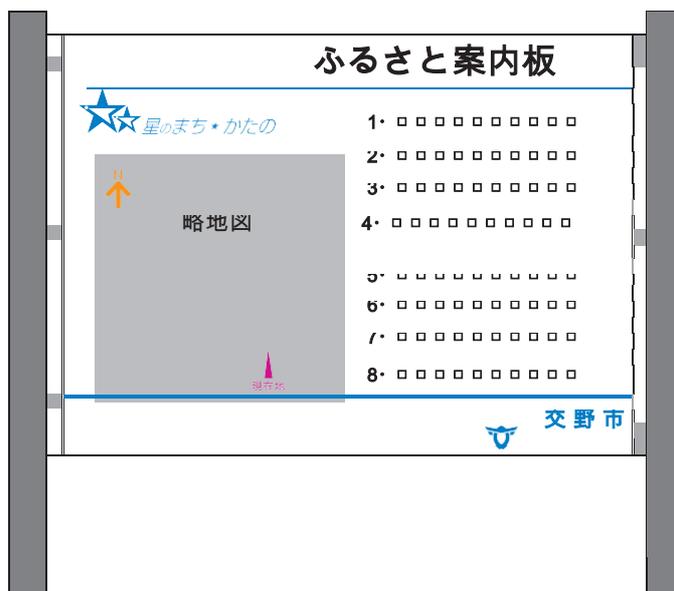
### ■ 交通標識



\* 交通標識 設置状況イメージ



### ■ 案内板 A



### ■ 案内板・B

